



平成22年11月4日

報道関係各位

株式会社UMNファーマ

Protein Sciences Corporationが、Emergent BioSolutions Inc.と 完全和解し全ての訴訟が終結することになった、と発表しました

株式会社UMNファーマ(本社:秋田県秋田市、社長:金指秀一)が開発を進めている組換えインフルエンザHAワクチンのライセンサーであるProtein Sciences Corporation (PSC、本社:米国コネチカット州メリデン、Executive Chairman: Daniel D. Adams)は、2008年6月にEmergent BioSolutions Inc. (EBS)がPSCの実質的買収に失敗したことに端を発した両社間の諸問題について、完全和解することで合意、両社とその経営陣に関係する全ての訴訟が取り下げられた、と発表しました。

当社がPSCより取得している日本におけるインフルエンザワクチンの製造・開発・販売権は、たとえPSCの経営権が第三者に移譲されたとしても有効に存続することが契約上で強く保証されていますので、今回のPSCとEBS両社の合意が当社のビジネスに与える影響はありません。

当社代表取締役社長 金指秀一は、「PSCとEBSの係争が終結したことにより、PSCの経営基盤がより一層安定し、季節性インフルエンザワクチン FluBlok及びH5N1インフルエンザワクチン PanBlokの承認に向けて、リソースがさらに集中されるものと期待しています。当社は、今年7月に厚生労働省の新型インフルエンザワクチン開発・製造体制整備事業に採択されており、ワクチンの迅速な開発と製造体制整備に向けて引き続き全力で取り組んでまいります。」と述べております。



■ 株式会社 UMN ファーマについて

株式会社 UMN ファーマは、Unmet Medical Needs（未充足医療ニーズ）^(※)を満たす薬剤を開発する創薬ベンチャーとして平成 16 年に設立されました。大学・公的研究機関・ベンチャー企業の創薬シーズの中から、医薬品開発の豊富な経験とグローバルネットワークを活用し、大手製薬企業への導出・提携をみずえつつ、成功確率の高いものを的確に選び出し、スピーディーに開発を進めます。

組換えインフルエンザワクチンに関しては、本年 1 月に株式会社 IHI と共同でワクチン原薬製造を行う子会社を設立することで合意しました。また、4 月にはアピ株式会社と製剤に関する基本合意を、9 月にはアステラス製薬株式会社と共同開発・販売に関する提携に合意し、着実に事業化を進めております。7 月には、厚生労働省の助成対象企業に採択され、実験用生産施設の建設を行っております。

(※)Unmet Medical Needs とは、満足な治療法が存在しない治療領域において新規薬剤を待望する社会全体の期待を表す。

設 立：平成 16 年 4 月 20 日

代表取締役社長：金指 秀一

医師、医学博士、日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医

本 社：秋田県秋田市中通 3-1-9 ダイアビル秋田 901

横 浜 本 社：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-15-16 NOF 新横浜ビル 4 階

ホ ー ム ペ ー ジ：<http://umnpharma.com/index.html>

— 本件に関するお問い合わせ先 —

株式会社 UMN ファーマ 取締役 経営企画部長

手嶋 剛

電話：045-624-8341

E-mail：press@umnpharma.com